

# 昭和三十九年度

## 回顧

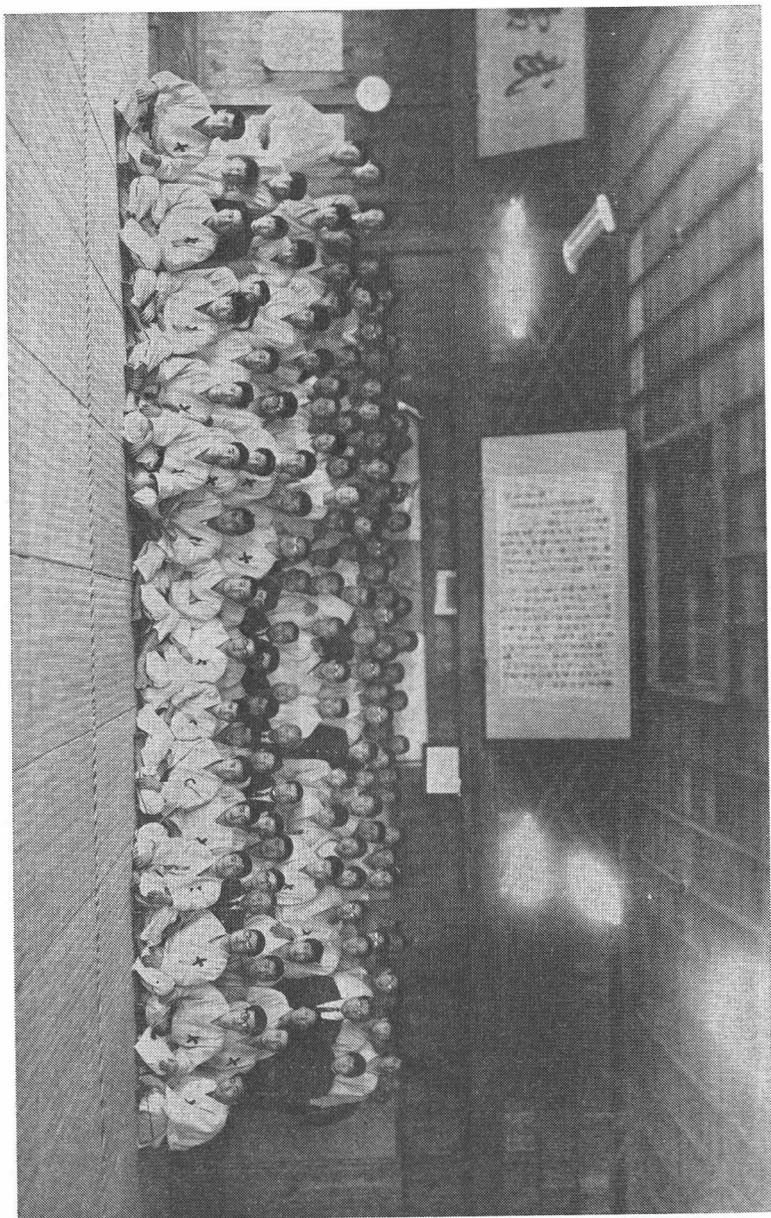
塚田正昭

昭和三十九年は、東京オリンピックに柔道が正式種目として採用され、柔道界はおおいに湧きあがっていた。我々も当年度の目標を……

- 一、一部復帰、早慶戦に勝つ為の豊富な練習と精神面の充実
  - 二、新設された合宿所の効果的活用と運営の軌道のせ
  - 三、幼稚園から大学までの一貫性をもった練習方法の確立
- 等にしほり勇躍スタートを切った。

特に柔友会諸先輩のご尽力で竣工した日吉の合宿所については、初めての経験でもあり、なんらか効果をあらわせるよう、また運営についても軌道のせができるよう、あらたに合宿所マネージャーをもうけ、この任にあたってもらった。

たまたまオリンピックの関係で、大会関係のスケジュールが大幅にくりあがったので、年初より長期合宿体制を組むことができ、そのため練習、トレーニング、雰囲気づくり等にはその効果が相当でたと思われるが、このため運営担当にあたったマネージャー各位は、なみなみならぬご苦勞があったと思われ、あらためて感謝の意を表する次第で



昭和三十九年卒業生送別記念

ある。合宿所生活について思いだすままに書いてみたい。

#### その一

相当な大世帯になるので部屋割りはどうするか大分検討したが、結局各学年が二、三名ずつ同居した。よく一年違えばなんとやらといわれているが、まったくこのような心配はなく、しっかりとけじめをつけつつ和気藹々とした雰囲気生まれ、お互いの技術向上、人間的成長におおいにプラスの面がでて、自発的、意欲的態度が部全体にかもしだされた。

#### その二

このような雰囲気の中で、各学年、先輩、後輩の間により絆がつつちかわれ、年間一人の退部者、落伍者もなかったことは、さいわいであった。また、中庭では自発的なトレーニングが競っておこなわれ、セメント等でバーベルをつくって精出した事が懐しい。

#### その三

食事時はまことに壮観であった。ただでさえ食べ過ぎかりの若人が、練習で腹を減らし、食事時間を待ち望み、いっせいにはしを取るさまは、見事であった。

諸先輩の肝入りでおこなわれたスキヤキ会、焼肉会、チャンコ鍋等、温かい気持をかみしめながら、ガンバラナケレバ……と誓い合った事も数回……今思えば涙がでてくる気持です。

#### その四

ふだんは勿論、禁酒であるが、試合の終わった夜、合宿のうちあげ等の時は解禁、飲める者も飲めない者も食堂にくるまざりなり、お互いの労を讃え益をあげた。このあたりまではなかなかごやかであるが、あとは腹をきったよう

にとめどもなく……といった感じ。泣きたず者、笑いだず者、説教をはじめめる者、体調に異常をきたす者など、普段はみることのない赤裸々な人間像をみることができた。

このようにして新合宿所は、その一步をスタートした。十年以上たつたいま、あまり行く機会がなく残念であるが、あの合宿所には、我々の汗と、涙と、笑い、と青春の情熱の、すべてがしみついているように思えてならない。

## 全米柔道選手権大会出場記

植村 健次郎

これは十数年前、当時私と兄の剛太郎がアメリカ・イリノイ州シカゴ近郊の田舎町にあるマンマス大学留学中に第十二回全米柔道選手権に出場した始末記です。

我々が出場して数年後からは日本人が出場出来なくなった大会で、その点この試合に出場出来たという事は、まさに幸運でした。この大会は、ニューヨークの世界博覧会会場にて行われる事になっており、我々は博覧会を見たかった事と田舎町の単調な学生生活にあきあきしていた事が、出場への大きな動機でした。シカゴの子選で一位になると、ニューヨーク迄の往復の飛行機代、二位になると片道がギャランティーされるといふ事が我々には非常に魅力だった訳です。

クラスは一三五ポンド以下、一五〇ポンド以下、一六五ポンド以下、一八〇ポンド以下、二〇〇ポンド以下、二〇〇ポンド以上の六階級に分けられていました。私は二〇〇ポンド(90kg)以下、兄の剛太郎は二〇〇ポンド以上と

いう事で寒い二月の地区予選会に臨みました。シカゴに於けるこの予選にはアイオワ、イリノイ、ウイスコンシン、インディアナ、ミシガン州の選手が出場しました。私は楽に二〇〇ポンド以下で勝つ事が出来ましたが、兄は決勝でジム・コーガンという怪物と当り終始攻勢でありましたが、払腰をかけられ悪いくせて体で頑張った為、体負けして一回転半ふりまわされて敗れて二位となりました。この時今でも鮮明におぼえていることは、当時シカゴ在住であった宮崎剛先輩に試合後兄がきついおしかりと激励を受けた事です。この宮崎剛先輩の激励を機に稽古相手の不足を毎朝六時からの一時間のランニングで体力を養成し本大会に備えました。

四月の終りにシカゴで親類づき合いをしていたゴールドステイン夫妻の車でやはり本大会への出場権を得た彼等の長男ルイスゴールドステイン(当時初段)と我々計五人でニューヨークへ向いました。ニューヨークにはワシントン州代表として一五〇ポンド級に出場する同期の古森義久君、カリフォルニアの空軍基地代表のグレゴリーナップ三段(塾に三十七年留学)又当時ワシントンD・Cの大学の大学院生のメイナードトル二段(塾に三十七年留学)等が集まってきており、これらの塾関係者は清水英範先輩のアパートに於いて必勝を誓い合ったものです。我々兄弟は大会期間中清水英範先輩宅に寄宿し、清水先輩の手料理(タマゴ焼が主)でスタミナを養成したものです。

この第十二回大会は東京オリンピックの開催年であった関係で各選手も大変な気の入れようでした。カナダで選手権をとり早々にオリンピック代表の座を射止めたロジャース(秋の東京オリンピックで猪熊と決勝を争った)ハリス、キャンベル、ラックレイ等が下馬評で優勝候補に上っており、強豪がそろった年といわれていました。その中でも二〇〇ポンド以上では、ロジャースが一番とみられていました。試合の当日計量が行われたのですが、兄剛太郎は二〇五ポンドしかなく、彼のクラスでは一番小さく前途は多難でした。

さて試合は三回戦でロジャースと当たった剛太郎は試合中頃迄互角に試合を進め、後半に入った頃掛けた大内刈が効

き、ロジャースは完全に横転、少くとも技有と思いましたが審判コールせずそのまま試合終了し優勢勝となりました。その後勢いを得てハリスには判定、ラックレイにはポイント優勢と強豪を倒し文句なく二〇〇〇ポンド以上で優勝しました。

私は大内刈、小外刈を駆使して六試合勝ち進み決勝では前年の二〇〇ポンド級で優勝し、グラランドチャンピオンでは篠原に敗れ二位となった明大出の大林五段と当りました。大林君は決勝迄の六試合全て内股等の大技で一本勝しており自信満々の態度で決勝に臨んできました。試合開始後、私の掛けた右大内刈が技有りとなり、その後試合終了迄受けに廻り、途中危い場面もありましたが、何とか逃げ切り二〇〇ポンド以下の優勝を収める事が出来ました。古森君は一五〇ポンド級で惜しくも四位になったと記憶しております。

グラランドチャンピオンを争う各クラスの勝者は、一三五ポンド、古賀（明大出）、一五〇ポンド、紫田（日大出）、一六五ポンド、ブレグマン一八〇ポンド、ハリイ木村と私と兄の六人でありました。一六五ポンド以下の三人とそれ以上の三人の各リーグ戦による勝者同志が争いグラランドチャンピオンを決める訳です。何としても我々兄弟からチャンピオンを出すべく清水先輩とも協議の上、剛太郎を重い方から出す事にしました。勿論私と剛太郎は形式だけの試合をし、剛太郎が優勢勝をし、私、剛太郎共一八〇ポンドの木村を難なく処理したため自動的に重い方の代表は剛太郎と決りました。軽い方からは予想通りブレグマンが出てきました。彼は多彩な技を使う選手で仲々あなどれぬ相手でした。（東京オリンピック三位）

決勝はまさに互角で、兄が大内刈でポイントらしきものをとただけで副審二人の内、一人は旗を本、一人が兄にあげ、主審（石川隆彦先生）はしばらく考えた後兄の勝ちをコールというきわどいものでしたが、とにかく十二回全米柔道選手権は兄剛太郎の頭上に輝いた訳です。この優勝は二日間に渡った試合中ずっとそばにつき一切の世話をし

て下さった上激励をたえずして下さった清水英範先輩、他トール、ナップの二人のおかげであり、又二月の予選の際の宮崎先輩のハッパが大きな因ともいえると思います。試合終了後これら塾関係者がマンハッタンの「ニッポン」レストランに剣道部OB甲田先輩の招きで集まりドンチャンさわぎをした事も楽しく思い出されます。

我々二人が塾柔道部の名を米国に於いて高揚せしめる事に貢献出来ました事は、実に光栄であり、幸運でありました。その後米国有数のスポーツ番組であるNBCスポーツで、我々二人の活躍を紹介してくれる等とこの大会にまつわる思い出は尽きないものがあります。



日吉高 二五名

大 学 八三名

留学生 メイナード・トール

グレゴリー・ナップ

先 輩 井上、大館、成毛(秀)、成毛(雅)、渡辺、阿

部、豊永、橋本、堀内、南、野田、福山、森

田、杉浦、大島

横浜地区新人柔道大会 (日吉高校)

二月二日 於 金沢高校

有段者之部 (上段日吉高校)

一回戦

松葉直彦 合技 ○井上

○森 秀雄 不戦勝

○田 口 押込 小林

二回戦

○森 秀雄 合技 安藤

○藤 野賢次 内股 山中

○松 野慶一 合技 山中

○津 野庄三 抽選 ○竹生

○加 藤陽 絞技 幡野

三回戦

渡辺和宏

○森 秀雄 押込

○藤 野賢次 優勢 寺島

加藤陽 返技 ○中川

無段者之部 (上段日吉高校)

一回戦

○野 島豊一郎 優勢 井上

○山 本 大外刈 深田

二回戦

○米 山一男 不戦 松村

○山 本 優勢 小林

○野 島豊一郎 背負投 佐藤

○猪 原和男 抽選 ○島津

○後 藤雅洋 内股 佐藤

○牛 山光彦 不戦 黒田

三回戦

○米 山一男 合技 伊藤

○山 本 大外刈 内田

○野 島豊一郎 優勢 石田

四回戦 ○後藤雅洋 内股 時田  
牛山光彦 一本背負 ○安藤

○米山一男 合枝 名嘉

山本 足弘 ○小菅

野島豊二郎 弘腰 ○遠山

五回戦 ○後藤雅洋 優勢 丹下

後藤雅洋 一本背負 ○市原

六回戦 ○米山一男 押込 沢田

準決勝 米山一男 優勢 ○小菅

米山は第3位となる。

埼玉県高校柔道新人戦 (志木高校)

二月二日 於 浦和高

第一戦

志木高 1 — 1 聖望高

先鋒 羽鳥順 引分 先鋒 岩崎

河村 引分 齋藤

小山和人 引分 戸口

第二戦 大将 ○岡田 昂 内股 ○串田  
豊田降志 不戦大将 内田

志木高 2 — 1 蔵高

先鋒 ○羽島順 袈裟固先鋒 武井

○河村 送襟絞 佐久間

小山和人 引分 増田

豊田降志 引分 守屋二郎

大将 岡田 昂 優勢 大将 ○守屋 亘

リーグ戦にて敗退。

卒業生送別試合

二月十六日 於 網町道場

卒業生 在校

先鋒 ○石井邦博 大外刈 手塚

○石井 釣込腰 飯島

○石井 大外刈 鈴木

○石井 大外刈 河瀬

○石井 大外刈 加納

○石井 合技 新妻

○石井 大外刈 佐藤

○石井 大外刈 原





本塾対東北学院大学対抗試合

本塾

三月二十六日 於 綱町道場

大将	斎藤洋志(3)	萩原賢二(3)	野田侃生(3)	長谷川孝(3)	中村征人(3)	片桐正路(3)	朝倉秀樹(3)	西村和悦(2)	宮沢由幸(2)	堀信孝(2)	飯田祥次(2)	関郁夫(2)	稲田謙一(2)	田中明男(2)	庄司利昭(2)	橋田敏一(2)	先鋒
	引分	引分	引分	内股スカシ	引分	優勢	引分	袈裟固	引分	引分	大内刈	合技	引分	背負投	引分	背負投	先鋒
	大将			○鈴木	○高橋	○佐藤	○桜井	○洞口	○大石	○松井	○渡辺	○深瀬	○高橋	○加藤	○佐藤	○高橋	東北学院
	菊地	○加藤	○竹中	○蔵人	○高橋	○佐藤	○桜井	○洞口	○大石	○松井	○渡辺	○深瀬	○高橋	○加藤	○佐藤	○高橋	

東京都柔道選手権大会

(全日本柔道選手権大会予選)

昭和三十九年東京都柔道選手権大会に塾、塚田正昭(四段)君が出場した。

第一試合で敗退した  
塚田正昭 優勢 ○沢田(4)(警視庁)

埼玉県西部地区リーグ戦(志木高校)

四月十一日 於 豊岡実業高校

第一回戦

志木高 6-0 川越農高

先鋒○豊田隆志 肩車先鋒 相又

○岡田勲 移腰 尾崎

○中村 大外刈 小峰

○羽鳥正 袈裟固 柳下

○河村東 横四方 柳下

○田中 片羽絞 高橋

大将 小山 引分 大将 松本

第二回戦

志木高 1-4 川越商業

先鋒 豊田隆志 返技先鋒○宇山

○岡田勲 引分 保坂

○中村 大内刈 浅川

第三回戦

大将 羽村 河村 田中 小山

本塾

先鋒 豊田 隆志

6 | 1

小川高

○中村 返技 内股 優勢 先鋒 吉田  
○羽村 横四方 返技 内股 優勢 先鋒 吉田  
○河村 送襟紋 送襟紋 横四方 返技 内股 優勢 先鋒 吉田  
○田中 送襟紋 送襟紋 横四方 返技 内股 優勢 先鋒 吉田  
大将 小山 優勢 大将 小山

個人戦  
三年の部

羽鳥 河村

東

内股 上四方

○長堀(飯能高) 清水(飯能高)

二年の部

○岡田 大腰 内股 体落 優勢

昂

大腰 内股 体落 優勢

○小沢(小川高) 内田(聖望高) 保坂(川越高) 小沢(川越高)

岡田は準優勝

日吉高校対立教高校対抗試合

四月十八日 於 綱町道場

日吉高

5 | 8

立教高校

先鋒 砂金

大内刈 先鋒

仲佐藤

緒方

引分

田伏

鈴木

合技

鈴木

岸木

合技

飯田

川手

合技

須藤

山口

背負投

田中

山本

大外刈

西田

野島

双手刈

藤崎

猪原

合技

石崎

稻田

内股

加藤

渡辺

ツバメ返

加藤

渡辺

引分

田中

加藤

引分

阿部

藤野

引分

秋山

内海

内股

西尾

松野

引分

佐藤

森野

引分

塩野

秀雄

弘腰

菅原弘道 内股 ○高橋  
 大将○津田庄三 返技大将 荒川

第三回東京関東学生柔道体重別選手権大会

四月十九日 於 講道館

一回戦

輕量級

関 郁夫(2) 不戦

福田泰資(2) 不戦

中量級

○安藤洋志(3) 弘巻込 田中(国学院)

荻巢賢二(3) 不戦

重量級

○辰野幸正(4) 優勢 伊東(日体大)

塚田正昭(4) 不戦

二回戦

輕量級

○関 郁夫 優勢 定立(学芸大)

福田泰資 不戦

中量級

○安藤洋志 大外刈 伊藤(東邦大)

重量級

○荻巢賢二 大外刈 吉野(千葉大)

辰野幸正 袖釣込腰 ○高橋(拓大)

○塚田正昭 優勢 橋本(芝工大)

三回戦

輕量級

関 郁夫 体落 ○藤田(明大)

福田泰資 背負投 ○

中量級

○安藤洋志 優勢 小柳(東海大)

荻巢賢二 合技 ○鳥越(日大)

重量級

塚田正昭 優勢 ○山田(拓大)

四回戦

中量級

安藤洋志 優勢 ○姫野(法大)

本塾対防衛大学对抗試合

四月二十四日 於 日吉道場

本塾 11 | 1 防衛大

先鋒○手島秀士郎 後腰先鋒加藤

第一回戦

先鋒 田中

本塾

1

1

優勢 先鋒 戸田 浦和高

学徒総合体育会高校柔道大会(志木高校)

四月二十五日 於 浦和高

大将

庄司利昭(3) 引分 大將 前野

安藤洋志(3) 引分 今泉

荻巢賢二(3) 引分 松隈

○中村征人(3) 優勢 小柳

○金子賢二(3) 十字固 伊丹

若菜武夫(3) 引分 佐山

野田侃生(3) 引分 石岡

○森田總典(3) 優勢 永倉

○飯田祥次(3) 横四方 石川

西村和悦(3) 引分 池宮

○井上雅行(3) 大外刈 洗崎

大竹高孝 大外巻 寺村

○長谷川孝樹 内股 高橋

○朝倉秀樹 弘腰 保本

○小杉信孝 大外刈 徳田

○堀田明男 崩袈裟 伊藤

○田中明男 内股 永野

第二回戦

抽選の結果浦和高の勝。

大将

小山 引分 大將 河原

○岡田 大腰 相川

羽鳥 引分 和泉

河村 引分 青砥

○岡田 大腰 和泉

先鋒 田中 送襟絞 先鋒 藤井

○岡田 横四方 若林

○羽鳥 横四方 原田

○河村 背負投 和田

大将 小山 優勢 大將 加藤

本塾対横浜税関・神奈川県警・関東学院連合軍対抗試合

四月二十七日 於 神奈川武道館

本塾 7-6 連合軍

先鋒 望月克行 横四方 先鋒 小倉

○望月 大外刈 村上

稲石謙一 跳腰 村上

○大竹高浩 引分 清水

金杉 引分 金子

小杉 引分 金子

○森田總典(3) 優勢 千代川

○沢地憲一(3) 優勢 千代川

第十二回全米柔道選手権

五月一日・二日 於 ニューヨーク

塾を三十八年卒業の植村剛太郎(5)、植村健次郎(4)の二名が出場し、植村(剛)が全階級を制覇し、植村(健)は二百ポンド級で優勝した。

二百ポンド級

五回戦

植村 健次郎(4) 不戦

大将	安藤洋志(3)	引分	大将	菅沢
庄司利昭(3)	引分	菅屋		
萩巢賢二(3)	引分	友岡		
野田侃生(3)	引分	高橋		
金子賢二(3)	優勢	西田		
○中村征人(3)	内股	大沢		
○西村和悦(3)	合技	谷		
○飯田祥志(3)	大内返	小谷田		
手島秀士郎(3)	内股	○永島		
堀信孝(3)	合技	○加藤		
井上雅行(3)	優勢	○菅谷		
朝倉秀樹(3)	引分	西口		
○長谷川孝(3)	優勢	三橋		

六回戦

○植村 健次郎 優勢 大林(5)(明大出)

結果植村(健)が優勝。

ヘビー級

五回戦

○植村 剛太郎(5) 優勢 F・ラクレ(1)(3)

結果、植村(剛)が優勢。

グランド・チャンピオン戦

B組リーグ戦決勝

○植村 健次郎 優勢 木村(2)(北加)

○植村 剛太郎 弘釣込足 木村(2)(北加)

○植村 剛太郎 大内返 植村 健次郎

決勝

○植村 剛太郎(5) 優勢 プレグマン(首府)(4)

春季大会

五月三日 於 綱町道場

初段以下

紅 白

先鋒 増田 袈裟固 先鋒○高橋

○赤木 体落 高橋

○赤木 合技 綱島





先鋒 ○森 秀雄 2 | 0 秦野 A

内海 勝彦 引分 成井 吉川

松野 慶一 引分 川口

大將 菅原 弘道 引分 大將 鈴木

三回戦

日吉高 A 1 | 1 磯工 B

先鋒 森 秀雄 引分 栗田

内海 勝彦 引分 笛田

○松野 慶一 優勢 小泉

大將 菅原 弘道 引分 大將 細尾

代表戦

森 秀雄 引分 矢沢

○津田 庄三 合枝 笛田

四回戦

日吉高 A 0 | 5 日大藤沢 A

先鋒 森 秀雄 足弘 先鋒 ○高橋

内海 勝彦 優勢 ○波多野

松野 慶一 上四方 ○今井

津田 庄三 刈大外 ○橋本

大將 菅原 弘道 巴投 大將 ○川島  
敗者復活戦 (出場権決定試合)

日吉高 A 2 | 1 日大 B

先鋒 森 秀雄 引分 先鋒 小沢

内海 勝彦 優勢 ○秋山

○松野 慶一 横四方 芳賀

大將 菅原 弘道 引分 大將 伊藤

慶応は関東大会出場権を得た。

第十三回東京学生柔道優勝大会

五月十日 於 都体育館

全日本学生の出場権獲得を目指して本大会にのぞんだ  
がシード校中央大学に二回戦で敗れてしまった。

一回戦

本塾 5 | 1 東京経済大学

先鋒 ○野口 和志 (3) 弘腰 先鋒 田村

○斎藤 良平 (3) 大外刈 石原

安藤 洋志 (3) 背負投 ○塚原

中堅 ○清水 正敬 (3) 弘腰 中堅 五味

辰野 幸正 (3) 引分 中谷

二回戦

本塾 0 — 5 中央大学

○高橋彦二郎(3) 崩上四方 塚本  
 大将○塚田正昭(4) 大内刈 大将 野々村

先鋒 萩巢賢二 横四方 先鋒○関根

中堅 清水正敬 引分 石井

野口和志 引分 中堅 岡野

大将 高橋彦二郎 大外刈 大将○中村(浩)

志木高校対立教高校対抗試合

五月十六日 於 立教高校

志木高 1 — 8 立教高

先鋒 吉村達三 引分 先鋒 佐藤

羽鳥順 背負投 ○鈴木

富田孝夫 弘腰 ○田中

堀口 引分 須藤

平井 合技 須藤

関谷 袈裟固 ○土師

奥田次郎 合技 ○田伏

細谷 合技 ○秋山

紋技 ○阿部

小山和人 引分 加藤

田中(繁) 袈裟固 ○塩野

河村 東 弘腰 ○高橋

大将○中村晃三 優勢 大将 荒川

第十一回関東高校柔道大会(日吉高校)

五月十七日 於 千葉県々営体育館

リーグ戦一回戦

日吉高 1 — 1 那珂湊一高

先鋒 森 秀雄 引分 先鋒 杉山

○内海勝彦 体落 根本

松野慶一 合技 ○池内

津田庄三 引分 荻谷

大将 菅原弘道 引分 大将 小林

リーグ戦二回戦

日吉高 3 — 0 都留高校

先鋒○森 秀雄 背負投 先鋒 和光

内海勝彦 引分 前田

○松野慶一 大外刈 上条

○津田庄三 大外刈 亀井

大将 菅原弘道 引分 大将 富田

慶応は勝点の差でトーナメント出場は出来なかった。

本塾対日本体育大学対抗試合

五月三十日

本塾

先鋒

西村和悦(3)	金子賢二(3)	野田侃生(3)	野田保夫(3)	峰岸保夫(3)	朝倉秀樹(3)	朝倉治(3)	山岸治(3)	森田典(3)	森田典(3)	飯田祥次(3)	長谷川孝(3)	橋田紘一(3)	橋田紘一(3)	関郁夫(3)	手島秀士郎(3)	岡本美臣(3)	大竹高(3)	
大内刈	引分	優勢	引分	優勢	引分	引分	優勢	優勢	引分	優勢	内股	引分	袖釣込腰	体落	弘腰	引分	引分	体落
○岡野	山口	木村	塚本	青柳	土井	石井	立川	立川	野崎	森平	森平	佐藤	佐野	花沢	花沢	安野	関	

日本体育大学

本塾対東京大学対抗試合

六月九日 於 東大七徳堂

本塾

先鋒

西村和悦(2)	福田(2)	大竹高(2)	大竹高(2)	福田(2)	大竹高(2)	中村征人(3)	中村征人(3)	高橋彦二(3)	高橋彦二(3)	滝沢緑郎(3)	滝沢緑郎(3)	若菜武夫(3)	若菜武夫(3)	庄司利昭(3)	庄司利昭(3)	荻巢賢二(3)	荻巢賢二(3)	安藤洋志(3)	安藤洋志(3)	野口和志(3)	野口和志(3)	清水正敬(3)	清水正敬(3)	辰野幸正(3)	辰野幸正(3)	塚田正昭(4)	塚田正昭(4)	大將	大將	
引分	逆技	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	優勢	引分	引分	引分	引分												
山中	浜崎	鈴木	狩野	東大	東大	岡野	岡野	香西	香西	細田	細田	森本	森本	藤永	藤永	藤永	藤永	遠藤	遠藤	西村	西村	下川	下川	東野	東野	矢野	矢野	杉原	杉原	

接戦のうへ大將同志の戦いとなり引分けとなった。

塾は高橋以下三名を残して勝つ。

田中明男(2)	上四方	合技	岡安
稲石謙一(2)	合技	原田	岡安
山岸治(2)	引分	佐伯	岡安
長谷川孝(3)	合技	土屋	岡安
長谷川	引分	佐藤	岡安
飯田祥次(2)	引分	三井	岡安
堀信孝(2)	背負投	影山	岡安
堀	大車	吉沢	岡安
渡辺尚文(2)	払腰	吉沢	岡安
渡辺	送襟絞	示野	岡安
朝倉秀樹(3)	引分	示野	岡安
橋田紘一(3)	大内返	嶋中	岡安
金子賢二(3)	合技	嶋中	岡安
金子	引分	藤綱	岡安
森田總典(3)	大外刈	三木	岡安
森田	引分	清水	岡安
若菜武夫(3)	引分	関野	岡安
中村征人(3)	引分	岡野	岡安
庄司利昭(3)	引分	神房	岡安

本塾対日本大学対抗試合

六月二十三日 於 日大江古田

先鋒 本塾 6 — 14 日大

滝沢緑郎(3)	引分	園
森田總典(3)	横四方	中並
長谷川孝(3)	引分	三浦
峰岸保夫(3)	背負投	宿利
朝倉秀樹(3)	優勢	宮崎
山岸治(3)	引分	高橋
福田泰資(3)	巴投	三浦
堀信孝(2)	背負投	栗原
飯田祥次(2)	小外刈	一戸
金子賢二(3)	引分	嶋根
岡本美臣(3)	大外返	城本
金杉浩(3)	大内返	井上
望月克己(2)	引分	中司
沢地憲一(2)	優勢	福島
中村征人(3)	内股	トマス
青木鶴佳(2)	大内刈	長尾
稲石謙一(2)	引分	手銭
手島秀士郎(2)	優勢	三上
橋田紘一(3)	引分	石井

大將	塚田正昭(4)	辰野正昭(4)	清水正敬(4)	安藤祥次(3)	萩巢賢三(3)	片桐正路(3)	庄司利昭(3)	高橋彦一郎(3)	石川莞二(3)	西村和悦(3)	野口和志(3)
	引分	優勢	引分	大内刈	小外刈	大外返	小内刈	大内刈	大内刈	小内刈	引分
	内股	大將	北村	石橋	青木	中村	阿部	金沢	鳥越	古賀	吉田
	江口										

神奈川県高校柔道大会兼全国大会予選(個人戦)

六月二十七日 於 江南高校

軽量級(上段は日吉高校)

野島豊一郎	小外刈	福本(日大藤沢)
野島	一本背負	鈴木(東高)
野島	一本背負	勝山(横浜商業)
野島	背投	福原(茅ヶ崎)
米山一男	合技	三宮(小田原)
米山	合技	寺田(神大)
米山	縦四方	赤井(平塚)

中量級

重量級

内海勝彦	合技	加藤(大磯)
内海	背負落	井上(日大藤沢)
森秀雄	優勢	出縄(相洋)
森	抽選	俵(日大)
森	大外刈	高橋(日大藤沢)
森	横四方	今井(横商)
森	浮腰	小島(小田原)
宮本圭一	抽選	須藤(豆子開成)
宮本	大外刈	片岡(日大)
津田庄三	大外刈	鈴木
津田	内股	吉田
津田	優勢	井上
津田	優勢	山川
津田	袈裟固	小島
津田	抽選	齋藤
津田	崩上四方	金沢

神奈川県高校柔道大会兼全国大会予選

六月二十八日 於 江南高校

二回戦

日吉高 2 — 1 藤沢商業

先鋒 内海勝彦 引分 先鋒 関野

三回戦

○津田庄三	袈裟固	古川
松野慶一	内股	○山川
○森秀雄	合技	小越
大将菅原弘道	引分	和田
	大将	
	和	

四回戦

日吉高	4	0	三浦高校
先鋒○内海勝彦	上四方	先鋒	田丸
○津田庄三	合技		横内
○松野慶一	上四方		藤井
森秀雄	引分		高井
大将○菅原弘道	背負投	大将	高木

日吉高

1	2	鎌倉学園
先鋒	大外刈	先鋒○栖原
○津田庄三	優勢	菊地
松野慶一	引分	一戸
森秀雄	引分	鈴木
大将菅原弘道	袈裟固	大将○小島

第十六回早慶對抗柔道戦

七月五日 於 講道館  
 昨年のみじめな敗戦から一年間部員の汗と涙の結晶を

実らせる為七月五日講道館にて早稲田と相まみえた塾は穴のないオーダを組んで接戦にもつれこむ試合運びを目指し試合もその様に進行して来たが要所にポイントゲッターを配した早稲田に3人を残され惜敗してしまつた。

審判

八段 菊地 揚二	八段 杵淵 政光
八段 細川九州男	八段 醍醐 敏郎
本塾	早稲田
先鋒 堀 信孝(2)	○藤内 邦磨(2)
稲石 謙一(2)	藤内
飯田 洋次(2)	引分
関 郁夫(2)	引分
○大竹 高(2)	優勢
大竹	私釣込足
○石川 莞二(3)	○大西 政一(3)
石川	優勢
○中村 征人(3)	○西山 洋(3)
中村	優勢
若菜 武夫(3)	○大竹 正高(3)
若菜	優勢
滝沢 緑郎(3)	○大竹 真昭(3)
滝沢	引分
庄司 利昭(3)	○近谷 忠行(3)
庄司	引分
○朝倉 秀樹(3)	○近谷 匡人(3)
朝倉	優勢
	樗 沢 隆 治(3)



対長野高校対抗試合

○鈴木重利	○川手彦	○奥田次郎	○山本隆	吉村達三	○岸村勇二	○小林寛	○角山泰造	○那須義久	○羽鳥順	先鋒	本塾	11	七月二十八日	於長野高	○中村晃三	○宮本圭一	○松野慶一	内海勝彦	羽鳥正稔	森秀雄	○河村秀東	菅原弘道	大將	○津田庄三	
引分	引分	大内刈	大外刈	引分	合技	大内刈	内股	逆	崩袈裟	先鋒	1			内股	崩上四方	大外刈	引分	引分	引分	横四方	引分	引分	引分	袈裟固	大將
白井	和田	岡村	朝日	猪野	新井	中村	○塚田	権田	木村	長野高				青木	小池	望月	長谷川	伊藤	小林	河本	広田	柴本			

対全松本対抗試合

○羽鳥順	○富田孝夫	○村上東	○小林寬	新行内進太郎	○緒方進太郎	○依田庄司	○石戸康雄	○植草彰	○萩原隆一	○田中義昭	岡戸知裕	塚本	先鋒	本塾	14	七月二十九日	於	松葉直彦	後藤雅洋	○岡田昂	○宮本圭一	大將	○中村晃三	大將	○江川陽一	全松本	塚田	丸山	田畑	佐々木	河本						
大外刈	袈裟固	優勢	袈裟固	体落	大外刈	絞	合技	体落	袈裟固	背負投	大外刈	引分	優勢	先鋒	4		県力向高校	大内刈	大將	横四方	肩固	大内刈	大將	引分	五十嵐	土谷	等々木	戸谷	波場	百瀬	大池	竹野	中村	小村	滝沢	中村	吉田

那須義久 引分 丸山  
 小林寛 合技 柳沢  
 関谷 優勢 相野田  
 佐山光 内股 中島  
 熊谷喜隆 弘腰 山田  
 鈴木重利 引分 滝沢  
 大將 古屋敏郎 大腰大將 千葉

對全松本對抗試合  
 七月二十九日於 県カ岡高校  
 本塾 11 — 2 全松本

先鋒 砂金建一 大内刈先鋒 遠藤  
 吉村達三 優勢 塩原  
 岸勇二 袈裟固 竹田  
 山本陸 送襟紋 中塚  
 奥田次郎 合技 中島  
 川手善彦 崩上四方 井上  
 渡辺弘 横四方 高橋  
 渡辺和 寧勢 久保田  
 野島豊一郎 優勢 小林  
 米山一男 合技 舟越  
 小山和人 上四方 大久保  
 稲田新 大外返 一ノ瀬

松葉直彦 引分 輪湖  
 後藤雅行 弘腰 三村  
 加藤陽 引分 磯部  
 岡田昂 跳腰 中野  
 宮本圭一 合技 族町  
 中村晃三 大内刈 日下部  
 内海勝彦 優勢 百瀬  
 羽鳥正稔 優勢 竹井  
 森秀雄 引分 小林  
 河村秀東 優勢 金子  
 菅原弘道 内股 内山  
 大將 津田庄三 優勢 大將 〇県

関西・四国遠征

八月十六日〜二十四日

今年は強敵の多い関西・四国を選んで八月十八日〜二十四日迄遠征した。警察最強の大阪府警には完敗したが、四国での各地の戦績は選手は良くその実力を発揮し、立派な戦績を残した。

本塾对大阪府对抗試合

八月十八日 於 大阪府警察学校

朝倉秀樹(3)	中村征人(3)	森田總典(3)	橋田紘一(3)	佐藤忠孝(3)	長谷川孝臣(3)	岡本美浩(2)	金杉浩(2)	大竹高(2)	飯田祥次(2)	手島秀士郎(2)	片桐正路(2)	望月克己(2)	田中明男(2)	田中明男(2)	沢地寛一(2)	稻石謙一(2)	関郁夫(2)	先鋒堀信孝(2)
弘腰	引分	優勢	引分	優勢	引分	合技	優勢	釣込腰	引分	大外返	優勢	優勢	引分	合技	大外刈	弘腰	脇固	先鋒
○黒田	笹田	○吉田	河村	大山	坂上	○丸木	大久保	○松田	恒川	○芽野	○川崎	○国本	石川	佐々	○木本	○泉田	柴田	大阪府

本塾对高知県对抗試合

八月二十日 於 高知県警察学校

○手島秀士郎	○堀信孝	○田中明男	先鋒ダニエル	本塾	大将塚田正昭(4)	辰野幸正(4)	清水正敬(4)	安藤洋志(3)	高藤彦一郎(3)	○荻巢賢二(3)	庄司利昭(3)	野田侃生(3)	金子賢二(3)	石川莞二(3)	西村和悦(3)	若菜武夫(3)	福田泰資(3)	峰岸保夫(3)
大外刈	体落	体落	合技	12	引分	引分	引分	優勢	優勢	絞	内股	優勢	引分	合技	優勢	優勢	袈裟固	引分
西山	宮崎	武村	○坂本	全高知	大将比嘉	井上	高根	○多田	○坂手	○峯	○松島	○岡田	○渡辺	○梶原	○福田	○宮本	○中川	木内

大将 ○飯田洋次 内股  
 ○大竹高 優勢  
 ○橋田紘一 体落  
 佐藤忠 引分  
 ○森田總典 合技  
 ○中村征人 内股  
 ○石川莞二 足弘  
 ○若菜武夫 背負投  
 ⊖福田泰資 優勢  
 庄司利昭 引分  
 荻巢賢二 引分  
 大将 ○安藤洋志 合技  
 大将 林古味

本塾对高知県選抜对抗試合

八月二十日 於 高知県警察学校

本塾 4 — 1 高知県選抜

先鋒 ○西村和悦 合技  
 金子賢二 引分  
 野田侃生 弘腰  
 ○高橋彦一郎 合技  
 ○辰野幸正 引分  
 ○清水正敬 合技  
 溝淵 水野 加藤 和田 有沢 今井

大将 ○塚田正昭 大外刈  
 古味

本塾对全徳島对抗試合

八月二十一日 於 徳島県武道館

本塾 14 — 2 全徳島

先鋒 ○ダニエル 足弘  
 堀信孝 優勢  
 金杉浩 上四方  
 ○大竹高 跳腰  
 ○飯田洋次 大外刈  
 ○佐藤忠 横四方  
 ○西村和悦 大外刈  
 ○橋田紘一 体落  
 ○森田總典 内股  
 ○中村征人 縦四方  
 ○高橋彦一郎 合技  
 ○峰岸保夫 崩上四方  
 ○荻巢賢二 横四方  
 ○安藤洋志 大外刈  
 ○清水正敬 弘腰  
 大将 ○塚田正昭 優勢  
 大将 安芸

住友  
 ⊖福井  
 ○福原  
 吉富  
 三宅  
 平野  
 藪手  
 山口  
 小泉  
 岸田  
 田原  
 萩原  
 笹田  
 辻井  
 福井  
 安芸

本塾对徳島県警察对抗試合

八月二十一日 於 徳島県武道館

本塾 7 — 0 徳島県警

先鋒 ○若菜 武夫 横四方 先鋒 鈴木

○森田 総典 合技 浜田

○中村 征人 合技 平野

○野田 侃生 横捨身 藁手

○庄司 利昭 横四方 岸田

○萩巢 賢二 一本背負 浦川

高橋 彦一郎 引分 那須

安藤 洋志 引分 豊田

辰野 幸正 引分 島田

大将 塚田 正昭 引分 大将 村田

本塾对全香川对抗試合

八月二十二日 於 香川県警察道場

本塾 9 — 9 全香川

先鋒 ダニエル 引分 先鋒 柏原

○堀 信孝 合技 黒川

○関 郁夫 優勢 香西

○稲石 洋一 合技 橋本

沢地 憲一 引分 中島

田中 明夫 引分

○望月 克己 縦四方

○片桐 正路 内股

○手島 秀士郎 大外刈

○飯田 洋次 内股

大竹 高 引分

金杉 浩 内股

岡本 美臣 引分

○長谷川 孝 優勢

○佐藤 忠 優勢

橋田 紘一 送襟絞

森田 総典 大外返

石川 莞二 引分

朝倉 秀樹 引分

峰岸 保夫 引分

福田 泰資 袈裟固

若菜 武夫 合技

西村 和悦 内股

中村 征人 優勢

金子 賢二 絞技

野田 侃生 引分

庄司 利昭 引分

萩巢 賢二 引分

藤田

黒川

井上

三木

榎野

○則久

国重

佐伯

高島

三崎

○大谷

○山奥

作条

三野

松本

○松本

○松本

○松本

○松本

○松本

○松本

○松本

○松本

高橋彦二郎 引分 松本  
 安藤洋志 引分 松尾  
 清水正敬 優勢 ○柏原  
 辰野幸正 引分 国重  
 塚田正昭 引分 大将 高橋

神奈川県高等学校年別柔道大会(日吉高校)

八月二十四日 於 茅ヶ崎高校

一回戦

日吉高(1年) 3 — 0 横浜工業  
 先鋒 鈴木重利 引分 先鋒 飯塚  
 ○鈴木重安 大内刈 福本  
 ○古屋敏郎 大外刈 徳山  
 ○小林寛 体落 坂本  
 大将 熊谷喜隆 引分 大将 吉田  
 日吉高(2年) 2 — 3 藤沢商業  
 先鋒 ○米山 合技 先鋒 遠藤  
 後藤 跳腰 ○関野  
 ○宮本圭一 合技 武井  
 後藤 跳腰 ○山川  
 大将 松葉直彦 跳腰 大将 ○和田  
 日吉高(3年) 2 — 3 相洋高校  
 先鋒 森秀雄 優勢 先鋒 ○渡辺

二回戦

本塾(1年) 2 — 2 日大藤沢  
 先鋒 鈴木重利 絞技 先鋒 ○五十嵐  
 ○鈴木重安 合技 村上  
 古屋敏郎 引分 波多野  
 ○小林寛 合技 五十嵐  
 大将 熊谷喜隆 横四方 大将 ○齋藤

○内海勝彦 崩上四方 原田  
 津田庄三 大外刈 ○山口  
 ○松野慶一 大外刈 川原  
 大将 川手善彦 優勢 大将 ○増田

代表戦

古屋敏郎 引分 波多野  
 鈴木重安 引分 五十嵐  
 抽選の結果慶応の勝。

三回戦

日吉高(1年) 4 — 0 泉川崎高  
 先鋒 鈴木重利 引分 先鋒 佐藤  
 ○鈴木重安 優勢 中山  
 ○古屋敏郎 合技 北詰  
 ○小林寛 袈裟固 中野  
 大将 ○熊谷喜隆 弘腰 大将 油井

準決勝

本塾(1年) 1 — 2 逗子開成

先鋒 鈴木重利 引分 先鋒 宮田

鈴木重安 優勢 山口

○古屋敏郎 合技 渡辺

小林寛 袈裟固 ○井口

大将 熊谷喜隆 引分 大将 志田

慶応は3位となる。

埼玉県高等学校低学年柔道大会(志木高校)

八月二十八日 於 浦和高

リーグ一回戦

志木高 4 — 3 春日部高

先鋒○佐山光 優勢 先鋒 山崎

羽鳥順 支釣込足 ○赤松

○富田孝夫 袈裟固 山口

○中村晃三 大外刈 三友

奥田次郎 優勢 ○川口

大将○岡田昂 大外刈 ○岡田井手

リーグ二回戦

志木高 2 — 4 行田高

先鋒 佐山光 合技 先鋒○新井

羽鳥順 内股 ○柴田

○富田孝夫 優勢 岩見

○中村晃三 合技 山口

奥田次郎 優勢 ○杉浦

大将 岡田昂 合技 ○卯都木

引分 大将 宮下

リーグ第三回戦

志木高 0 — 4 秩父高

先鋒 佐々光 背負投 先鋒○片山

羽鳥順 大外返 ○木村

富田孝夫 引分 八木

中村晃三 引分 加藤

奥田次郎 上四方 ○大西

大将 岡田昂 優勢 ○岩佐

引分 大将 金井

この結果リーグ戦にて敗退した。

第七回東京選抜学生柔道優勝大会

九月五日 於 講道館

第二回戦

本塾 4 — 0 芝浦工大

先鋒○荻巢賢三(3) 優勢 先鋒 岡崎(3)



堀	長谷川	森田	朝倉	朝倉	朝倉	若菜	若菜	中村	中村	井上	青木	青木	大竹	小杉	飯田	吉無田	宮沢	関	関	田中	田中	橋田
信孝	孝典	総典		秀樹	武夫		征人	雅行	佳	鶴高	祥次	健幸	郁夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	一
弘腰	引分	引分	優勢	優勢	裏紋	足弘	返技	引分	内股	引分	引分	優勢	引分	小外刈	小外刈	内股	引分	引分	裏技	引分	優勢	内股
○浦崎	○笹倉	○中村	○中村	○齋藤	○半田	○半田	○奥田	○向井	○木村	○園頭	○池内	○荒井	○川村	○川村	○川村	○川村	○小磯	○藤塚	○東本	○榎本	○大藪	○大藪

金子賢二 引分 浦崎  
 手島秀士郎 大外返 ○金原  
 滝沢緑郎 上四方 ○金原  
 庄司利昭 引分 金原  
 野田侃生 引分 秋山  
 大将 安藤洋志 引分 姫野  
 大将以下四名を残されて敗ける。

日吉高校対成城高校對抗試合

十一月一日 於 日吉道場  
 本塾 11 — 1 成城高校

出場選手

松葉、後藤、加藤、稲田、古屋、鈴木(利)、鈴木  
 (安)、緒方、岸、熊谷、依田、砂金、石戸

埼玉県西部地区柔道大会(志木高校)

十一月七日 於 川越工業高校

リーグ戦第一回戦	志木高	4 — 1	川越農業高校
リーグ戦第二回戦	志木高	1 — 3	川越商業高校
リーグ戦第三回戦	志木高	5 — 2	坂戸高

以上の結果リーグ戦にて敗退。

神奈川県高校対抗体重別柔道大会（日吉高校）

十一月十五日 於 鎌倉高校

一回戦

日吉高 0 — 2 平商

先鋒	那須	義久	引分	先鋒	石川
野島	豊一郎	引分		石垣	
田口	澄夫	内股		○大橋	
鈴木	重安	引分		小川	
大將	松野	慶一	優勢	大將	○秋山

本塾対日本体育大学対抗試合

十二月五日 於 日体大

本塾 4 — 10 日体大

先鋒	関	郁夫	引分	先鋒	住元
○金子	賢二	優勢		田村	
田中	明男	優勢		○花沢	
岡本	美臣	優勢		○池田	
金杉	浩	袖釣込腰		○佐野	
堀	信孝	引分		関	
森藤	平人郎	優勢		○立川	

日体大に大敗した。

大將	安藤	洋志	引分	大將	矢野
庄司	利昭	優勢		○下川	
○荻原	賢二	優勢		国分	
野田	侃生	引分		細田	
森田	總典	引分		○伊東	
朝倉	秀樹	弘腰		○西村	
飯田	祥次	優勢		信原	
若菜	武夫	引分		村上	
西村	和悦	引分		○杉田	
中村	征人	内股		香西	
長谷川	孝	引分		藤永	
○大竹	高	支釣込足		岸井	
○手島	秀士郎	内股		遠藤	
滝沢	緑郎	引分		芦田	
井上	雅行	引分		野崎	
沢地	憲一	引分		○青柳	
橋田	紘一	優勢		清水	
稲石	謙一	優勢			

本塾対法政大学対抗試合

十二月九日 於 日吉道場

本塾

1 — 12 法政大

先鋒

関 郁夫

引分 先鋒

酒井

稲石 洋一

内股

木村

長谷川 孝

引分

内田

青木 鶴佳

優勢

池内

中村 征人

優勢

藤塚

◎大竹 高

優勢

内海

宮沢 由幸

大外返

笹倉

飯田 祥次

引分

志田

沢地 憲一

引分

半田

森田 総典

体落

齋藤

堀田 信孝

優勢

小林

手島 秀士郎

優勢

◎下中

西村 和悦

引分

名倉

金子 賢二

逆分

角田

朝倉 秀樹

優勢

◎秋山

若菜 武夫

跳腰

◎金原

滝沢 緑郎

引分

大島

荻原 賢二

背負投

◎平岡

庄司 利昭

引分

坊野